

適応症	第一推奨薬	第二推奨薬
胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍 ※すべて癒痕は除く	タケキャブ10mg 1回 20mg 1日1回	—
低用量アスピリン投与時における 胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制	ランソプラゾールOD錠15mg 1回 15mg 1日1回	ラベプラゾールNa錠10mg 1回 10mg 1日1回
非ステロイド性抗炎症薬投与時における 胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制	ランソプラゾールOD錠15mg 1回 15mg 1日1回	タケキャブ10mg 1回 10mg 1日1回
ヘリコバクター・ピロリ除菌の補助	タケキャブ錠10mg 1回 20mg 1日2回	—
逆流性食道炎（初期・維持治療） ※初期治療は8週間まで	ランソプラゾールOD錠15mg （初期）1回 30mg 1日1回 （維持）1回 15mg 1日1回	ラベプラゾールNa錠10mg （初期）1回 10mg 1日1回 ※20mgまで増量可 （維持）1回 10mg 1日1回
逆流性食道炎（PPIで効果不十分） ※再発難治症例、内視鏡的重症例	タケキャブ10mg 1回 20mg 1日1回	ラベプラゾールNa錠10mg 1回 10-20mg 1日2回 ※20mgは重度の粘膜傷害のみ
非びらん性胃食道逆流症	ランソプラゾールOD錠15mg 1回 15mg 1日1回	ラベプラゾールNa錠10mg 1回 10mg 1日1回

ランソプラゾールはcollagenous colitisの発症頻度が他のPPIと比較して高いとの報告がある。
※継続する下痢症状を認める患者では他剤への変更を検討する。

（タケキャブの使用を考慮する症例）

- ・胃/十二指腸潰瘍の既往があり、再発すると基礎疾患の重篤化が懸念される症例
- ・PPIで効果不十分
- ・早期の症状緩和が必要な場合

作成：福岡赤十字病院フォーミュラリー検討部会、消化器内科

（薬事委員会承認：2023年2月14日初版）